

### 「小さな疑問」を大切に

経済学部長 内山 哲朗  
新入生の皆さんなら誰しも、「大学で何を学ぶか」を考えながら大学の門をくぐったのではないのでしょうか。  
大学生活において最も重要な力とは、与えられた知識を受け身のままにただ憶えようとするのではなく、自分が抱く「小さな疑問」を大切に、学んだ知識を、それを解くためにどう生かすかという能動的な発想に立つことだと思います。  
こうした発想の転換こそ、高校生から大学生になるための不可欠の要素です。経済学部での学業を通じて社会・経済をめぐる種々の疑問に向き合い、思考をめぐらせながら「自分なりの答えをつかむ努力」をしてみてください。  
その先には必ずと、入学時と卒業時との「違い」も生まれてくるはずですよ。



人間らしく生きてほしい。そのためには、私たちが君たちを信じる以上に、君たちは君たち自身を信じて柔軟な学び、専修大学を十分に楽しんでほしい。大好き専修大学！

### 大好き専修大学！

法学部長 白藤 博行  
知のワンダーランド・専修大学にようこそ。大学生活は4年間ですが、たった4年間で人生は変わります。君たちのこれからの生き方を決める大事な時間です。専修大学は素晴らしい伝統ある大学です。その伝統を未来に向かって革新するのには君たちです。自分を変えていくために他律的に変わってしまうのか、自分が変わるために自律的に自分を変えるのか。それが問われる4年間です。  
君たちには、もっと自由に、もっと人間らしく生きてほしい。そのためには、私たちが君たちを信じる以上に、君たちは君たち自身を信じて柔軟な学び、専修大学を十分に楽しんでほしい。大好き専修大学！



### しっかり準備をしよう

経営学部長 馬場 杉夫  
入学おめでとう。不安よりも期待で胸を膨らませていることでしょう。期待を結果に結び付けるために、準備を整えること、運を引き寄せることの2つを心掛けてみましょう。  
入試や部活の結果は、本番までに、勉強や練習(準備)をしっかりとできているかが重要です。たかどろかが重要で、試験や試合で当日できることは、限られています。大学生活を満喫するためには、授業に向けて、しっかり準備をすることが大切なのです。  
また、がんばっている姿や誠実な態度は、みんなが応援したくなります。自分が気づかないチャンスを周囲が教えてくれるようになります。運が向いてきます。充実した大学生活を送れるよう、工夫してみてください。



### 知的好奇心をもって

商学部長 佐々木 重人  
ご入学おめでとう。数多くの進路選択肢のなかから専修大学入学を決めた皆さんとのご縁を感じております。これからの4年間、我々が皆さんに提供する知識と経験が皆さん自身の自立的判断力を研ぎ澄ますことにつながることを切に希望しております。  
大学生たるゆえには、高校時代よりも自由であるが、自己責任も多く伴う点にあります。情報は豊富に提供されますが、それを自ら取捨選択することが大学生には求められます。大学の時間割ひとつを例にとっても全員が同じではなく自らの学問的興味や卒業後に就きたい職業を見据えた科目選択が必要となります。ぜひ何事にも受け身ではなく、知的好奇心を携えた積極的な学生生活を送ってください。



### ひとりの時間を大切に

文学部長 廣瀬 玲子  
ご入学おめでとうございます。今、皆さんの前には大学で過ごす4年間という時間があります。この時間を大切に、じっくりと自分の好きな分野の知識や経験を広げていってください。  
インターネットで遠くの人と簡単につながり、言葉を交わすことができ、現代ですが、時間的に余裕がない人も、さらに遠い人々とのつながり方が「読書」です。たとえばギリシアや中国で紀元前に書かれた書物。それらを翻訳で読むことで、わたしたちは地域も時代も言語も異なる人々が残した言葉に触れ、それを理解できる。すごいことだと思いますか。ひとりで静かに本のページをめくり、著者とゆっくり対話をする。そのような豊かな時間に恵まれますように。



### 楽しいが楽ではない

ネットワーク情報学部長 江原 淳  
入学おめでとうございます。本学部は文理融合の画期的な学部です。文系入試でもプログラミングが必修です。理系入試の人もデザインの演習があります。情報に形を与える「情報デザイン」も、情報システムを構築する技術力もどちらも必要だからです。学習だけが目的ではなく、それを生活や社会に新たなものを企画し実現していく力を身に付けることがカリキュラムの目的です。  
新しいものを創造する演習、一人ではなく仲間と協力して達成する成果、それらを学内でも学外でも発表する機会、学ぶことが楽しくなる大学生活だと思います。授業時間と同じくらい自習しないと間に合いません。発表やレポーターや発表があり、そこから、他学部とは違います。



### 知とスキルの土台作りを

人間科学部長 山上 精次  
新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。人間科学部における学びについて私たちの考えをお伝えしたいと思います。  
どんな学問分野でも学びの初期段階では、基礎的な知とスキルをしっかりと身につける必要があります。知とスキルの土台があって初めて、大学の学びの究極の目的である立派な創造性の宮殿を、その上に建築することができます。しかし、これを一つの授業科目内で達成することはできません。人間科学部では4年間での目標に到達できるようにカリキュラムが設計されています。土台作りは単調でつらい努力を必要としますが、それを乗り越えて初めて立派な宮殿が建てられることを信じ、精進してください。



## 学部長・大学院研究科長・法科大学院長からの歓迎メッセージ

### 冷静な頭脳と温かい心情

経済学研究科長 徳田 賢二  
専修大学大学院へようこそ。大学院は皆さんが知的パワーを高め、ステップアップできる絶好の舞台です。主役はもちろんあなた自身。そしてあなたの志がすべてです。その志の実現のためにも、十分に研究時間を確保し、研究を通じて論理的なライティング能力を高めることを心掛けてください。  
目指すは「冷静な頭脳(Cool Mind)と温かい心情(Warm Heart)」を兼ね備え、社会の課題に取り組む強い志を持った人材です。指導教員との二人三脚はもちろん、専修大学という充実した教育資源をフルに活用し、新たなキャリアの扉を切り開いてください。



### 総合的な理解と深い研究を

法学研究科長 小川 浩三  
入学おめでとう。2年間はあたたかく過ぎていった思い出があります。研究者を目指すという場合、研究者のための基礎的な訓練を受けたうえで論文を書き上げる必要があります。高度な職業を目指そうとする場合は、法学についての総合的な理解を獲得したうえで論文のテーマを見つけ、それについて深く立ち入った研究を行わなければなりません。  
しかし恐れる必要はありません。法学研究科は法学部よりさらに、教師との関係が密接です。教師を利用することができます。指導教授だけでなく、さまざまな教師と接触して、引き出しを多くください。待っています。



### 試行錯誤からテーマを追究

文学研究科長 広田 康生  
新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。大学院での研究は、自分自身が明らかにしたいテーマを選び、関連する文献の講読や実験、実習、フィールドワーク、指導の先生や友人との議論などでの試行錯誤をとおして、あなたのテーマ追究にとって、適切な所になる考え方や理論、方法を選び出し、考察を積み重ねていく作業です。  
この作業には、楽しさがある一方、なかなか成果が得られず将来が見えない苦しい時期も当然あります。しかし、常に自分に正直に、自分が進む道に自信を持って、たとえ逆風の中でもしなやかに、オリジナルな研究に進んでください。  
指導の先生や友人の意見、批判に対して、身構えずに自然体で、どうぞ積極的に利用してください。



### 「実践の学」を why の精神で

経営学研究科長 加藤 茂夫  
大学院の存在意義は高度の研究と学問、洞察力をもって社会への貢献をすること使命にしている。多様な価値観を新たな価値に転換する能力が問われる。私は経営学を実践の学として捉えている。実践の学とは人類の幸せに貢献することであり、つまり人間の学でなければならぬ。常に考えている。社会科学のみならず、自然科学の分野においても同様だろう。  
これからの君たちに期待することは、クワクワするような課題・テーマを設定し、地道に一所懸命に努力してほしいということであり、同時に、一見関係なさそうなことに好奇心を持ってほしいということである。子ども



### 課題発見・問題解決能力の体得を

商学研究科長 渡辺 達朗  
大学院入学おめでとうございます。商学研究科は、ローカルコミュニティからグローバルまで幅広い領域における、企業活動や社会的取り組みに関する課題発見と問題解決を視野に入れた実践的研究を志向しています。新入生の皆さんは、日々変化する現実の事象を追いながらも、決してそれに振り回されることなく、基本的な知識や理論を理解し、それを基に現実を生起している諸問題を分析し、将来を展望する能力を身につけてください。  
そうすることによって、高度な専門知識を有する職業人や起業家、あるいは学術的な研究者等に自身を磨き上げ、社会に貢献する有為な人材として巣立ってほしいと考えます。



### 正義感のある法律家を目指せ

法科大学院長 石村 修  
法科大学院に入学された皆さんに、スタッフを代表して歓迎の挨拶を申し上げます。  
今年の入学生は、残念ながら少数になりました。この厳しい時期であるからこそ、皆さまには明確な目標に向かって邁進してもらいたいと考えています。春休み期間も自習をされて来たと思いますが、これから教室で予習された内容を確認し、進化させる日々が続きます。今もっている意欲を持続させ、今もっている緊張感を持続させることを希望します。  
これから法律を扱うプロとして、この「技術と精神」を学ぶこと



私たちは全力でアシストすることをお約束します。